

(4) 下 水 道

下水道は住環境の改善や環境衛生の向上、公共用水域の水質保全などの役割を果たし、循環型社会の構築に寄与しています。

本市の公共下水道は、伊達処理区、有珠処理区、大滝処理区の3処理区に分けて計画を策定し、整備を進めています。

【 計画概要（排水区域） 】

区 分		全体計画	事業認可分				
			伊達処理区	有珠処理区			
汚 水	処 理 区 域	1,467.7 ha	865.5ha	大町、鹿島町、西梅、元西、西梅、大旭町、元西、西梅、浜町、錦町、網代町、山下町、網代町、竹原町、館山下町、末永町、館山町、舟岡町、東浜町、長和町、松ヶ枝町、弄月町、南稀府、萩原町、南黄金町、南黄金町の各一部	76 ha	有珠町、向有珠町、東有珠町の各一部	
	計 画 人 口	35,620 人	31,200 人		1,640 人		
	計 画 汚 水 量	日平均	16,428 m ³ /日	14,082 m ³ /日		463 m ³ /日	
		日最大	21,859 m ³ /日	17,120 m ³ /日		824 m ³ /日	
	時間最大	33,353 m ³ /日	25,816 m ³ /日		1,517 m ³ /日		
雨 水	処 理 区 域	1,425.1 ha	704.1 ha		64 ha		

(平成22年4月1日現在)

【 大滝区 計画概要（排水区域） 】

区 分		全体計画	事業認可分	
			大滝処理区	
汚 水	処 理 区 域	110 ha	104.5ha	
	計 画 人 口	2,000 人	2,000 人	
	計 画 汚 水 量	日平均	940 m ³ /日	940 m ³ /日
		日最大	2,120 m ³ /日	2,070 m ³ /日
	時間最大	3,680 m ³ /日	3,590 m ³ /日	
雨 水	処 理 区 域	ha	ha	

(平成22年4月1日現在)

都市計画決定分

排水区域（処理区域）

区 分	面 積	処 理 区	面 積
汚 水	8 8 2 ha	伊達処理区	7 4 3 ha
	(8 0 7 ha)	有珠処理区	6 4 ha
雨 水	8 8 2 ha	伊達処理区	7 4 3 ha
	(8 0 7 ha)	有珠処理区	6 4 ha

(平成22年4月1日現在)

下水道管渠

名 称	位 置		備 考
	起 点	終 点	
伊達1号幹線	伊達市長和町	伊達市館山下町	φ0.9m, L≒1,030m 分流式污水管
伊達放流幹線	伊達市長和町	伊達市長和町	φ0.9m, L≒ 60m 処理水放流管
有珠放流幹線	伊達市南有珠町	伊達市南有珠町	φ0.3m, L≒ 140m 処理水放流管

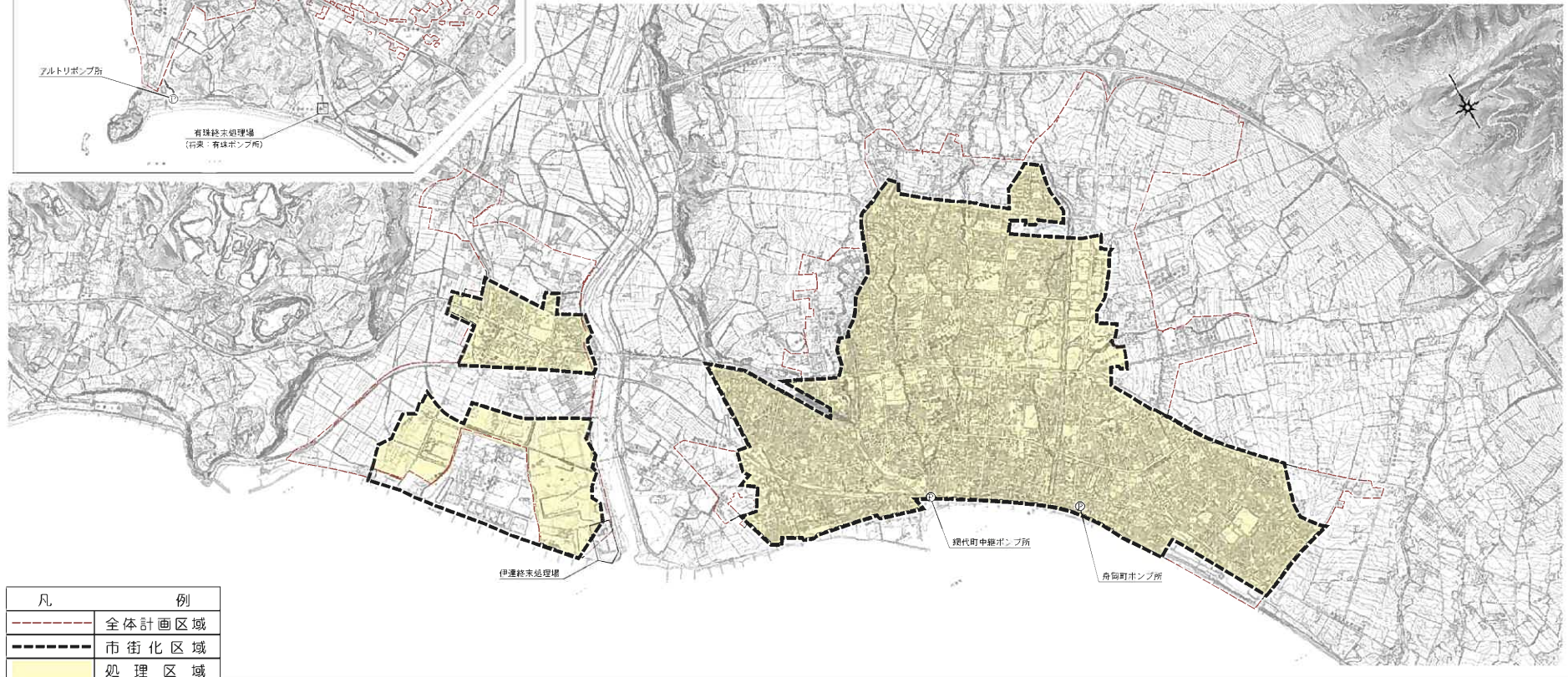
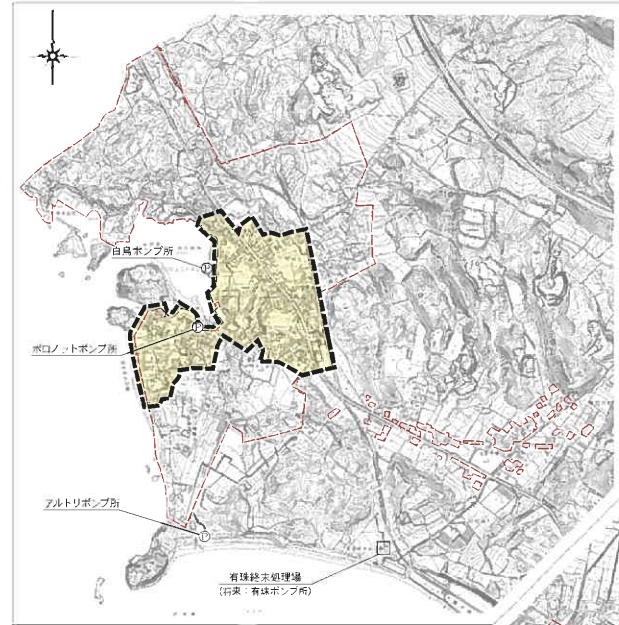
(平成22年4月1日現在)

その他の施設

名 称	位 置	面 積	揚水能力	処理能力
網代町中継ポンプ	伊達市網代町	約0.18ha	9.90m ³ /分	
伊達終末処理場 (標準活性汚泥法)	伊達市長和町	約4.23ha		18,975m ³ /日
有珠終末処理場 (回分式活性汚泥法)	伊達市南有珠町	約0.12ha		1,100m ³ /日

(平成22年4月1日現在)

公共下水道計画平面図



凡	例
---	全体計画区域
---	市街化区域
■	処理区域

大滝区公共下水道計画平面図



(5) その他

その他の都市計画施設として次のようなものがあります。

(ア) ごみ処理施設

本市のごみ処理については、ごみの減量化や再資源化、再利用を促進するとともに、今日的問題となっているダイオキシン類の削減対策に向け、西胆振5市町で構成される「西いぶり廃棄物処理広域連合」で適正かつ効率的な処理を行っています。

名 称		西胆振地域一般廃棄物処理施設		
位 置		室蘭市石川町34番地1外		
面 積		約25,000m ²		
建築物概要	種 類	階 数	建築面積	延床面積
	ごみ焼却施設	5F	5,900m ²	11,493m ²
	リサイクルプラザ	2F	1,750m ²	3,000m ²
処 理 概 要	対 象 物		一般廃棄物	
	処 理 量	焼 却	210t/24h	
		破 砕	57t/6h	
	処 理 の 方 法	焼却処理	可燃ごみ	
		破砕処理	不燃・粗大ごみ	
		資 源 化	缶・びん	
都市計画当初決定		平成12年11月15日		
都市計画最終決定		平成14年 4月16日		

(平成22年4月1日現在)